

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	高度情報通信福祉事業		担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	企画課自立支援振興室		君島 淳二		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	障害者基本計画、重点施策実施5カ年計画				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者が必要とする情報をインターネット等を活用して提供すると共に、これらの情報を利用するために必要な情報通信機器の使用方法を指導するパソコンボランティアの指導者の養成を行うことにより、障害者の情報通信技術の利用・活用の機会の拡大を図り障害者の情報バリアフリーを一層促進するものである。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	実施主体である団体(3団体)が行う視覚障害者用図書情報ネットワーク事業、点字ニュース即時提供事業、パソコンボランティア指導者養成事業等に要する費用の補助を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	171	171	171	165	172	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	171	171	171	165	172		
	執行額	171	171	171				
執行率(%)		100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	当該事業は、障害者の情報通信技術の利用・活用の機会の拡大を図り、障害者の情報バリアフリーを促進する事業であるため、定量的な成果目標は示すことができない。		成果実績		—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	パソコンボランティア指導者養成数		活動実績(当初見込み)	人	155	136	114	—
					(220)	(220)	(220)	(220)
単位当たりコスト	95,261(円/人)		算出根拠	単位当たりコスト=平成24年度パソコンボランティア指導者養成事業実績額/養成数=10,860千円/114人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	日本点字図書館	40	47	事業内容の改善(サーバの更新等)等に伴う増				
	日本盲人会連合	39	39					
	日本障害者リハビリテーション協会	86	86					
計	165	172						

事業所管部局による点検					
項目		評価	評価に関する説明		
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	点字ニュースの発行やパソコンボランティア指導者を養成等することにより情報バリアフリーを促進し、全国の障害者の社会参加に寄与するものであり、国費を投入して実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	障害者基本法第22条において、「国は、障害者が円滑に情報を取得し及び利用し、その意思を表示し、並びに他人との意思疎通を図ることができるようにするため、障害者が利用しやすい電子計算機及びその関連装置その他情報通信機器の普及等が図られるよう必要な施策を講じなければならない。」とされており、予算規模や事業内容を鑑みて、国で実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	-			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業内容を十分に実現しうる団体に対して、補助金を交付している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	より安価な会場で研修を実施するなど、事業コストの削減に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	ネットワーク保守料やDAISY作成に必要な経費のみに支出されている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	障害者の情報バリアフリーを促進するためのパソコンボランティア養成研修やDAISY作成等の経費のみに限定されている。		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	サピエ図書館の運営やパソコンボランティアの養成については、点字図書館のデータ化や全障害に対する知識が必要であるなど専門性が非常に高いため、実績がある法人に事業を補助することにより、効率的に事業が実施されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	団体において、事業計画に沿って事業活動が可能な限り実施されている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	点字ニュースを即時発行することにより視覚障害者の情報保障に資するとともに、養成されたパソコンボランティアの指導者は各都道府県等において、パソコンボランティアの養成の講師として活躍しており、障害者の情報バリアフリーに資するとともに、社会参加の促進に寄与している。		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点 検 結 果	○当該補助金は、団体毎に交付決定・交付額の確定を行っており、事業毎に適正に執行されている。 ○活動指標にあるパソコンボランティア指導者養成数については、当初見込みを下回る実績となっているが、障害者の情報通信技術の利用・活用の機会の拡大を図り、障害者の情報バリアフリーを促進する必要性の観点から、一定の事業規模は必要と考える。				
外部有識者の所見					
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現 状 通 り	本経費については、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現 状 通 り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	0506	平成23年	0459	平成24年	0402

厚生労働省
171百万円

(24年度実績)

障害者の情報通信技術の利用・活用の機会をの拡大を図る事業に対して補助

【補助】

【補助】

【補助】

A.(福)日本点字図書館

41百万円

B.(福)日本盲人会連合

40百万円

C.(公財)日本障害者
リハビリテーション協会
90百万円

・視覚障害者用図書情報ネットワーク運営事業

点字ニュース即時提供事業

・障害者情報ネットワーク運営事業
・パソコンボランティア指導者養成

【随意契約】

【随意契約】

D.
・システム運用保守・サーバ入替等業者
11.6百万円

E.
・サーバ運用・サイト開発業者 9.0百万円
・サイト開発業者 0.6百万円
・視覚障害者等用ツールソフトウェア製作業者 2.9百万円

システム運用保守、サーバ入替

サーバ運用、サイト開発、字幕製作等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万円)

A.(福)日本点字図書館			E.有限会社A		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託料	ソフトウェア開発業者 ネットワークシステム保守	17	賃金	報告資料作成作業費、システム保守作業費 等	9.0
人件費	事業部門	14			
その他	通信運搬費、雑役務費、借料及び損料等	6			
賃金	賃金職員	3			
消耗品費	セキュリティソフト等	1			
計		41	計		9.0
B.(福)日本盲人会連合			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事業部門	25			
通信運搬費	ネットワーク通信料、電話料等	7			
借料及び損料	システムリース	4			
賃金	賃金職員	3			
その他	消耗品、機器保守、修理等	1			
計		40	計		0
C.(公財)日本障害者リハビリテーション協会			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事業部門	46			
委託料	サーバ運用、サイト開発業者、DAISY制作、字幕制作等	12			
賃金	賃金職員	11			
雑役務費	データ入力、サーバメンテナンス等	5			
借料及び損料	事務機器リース、パソコンリース、研修会会場借料等	3			
旅費	講師旅費等	3			
諸謝金	講師謝金等	3			
印刷製本費	研修会テキスト等	2			
通信運搬費	回線使用料、電話、郵送料	2			
消耗品費	コピー用紙、文具等	2			
その他	備品購入等	1			
計		90	計		0
D.株式会社A			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
通信運搬費	回線使用料等	4			
借料及び損料	ハウジング費	3			
人件費	システム機器入替作業、サピエ図書館改修費等	3			
雑役務費	ハードウェア機器運用保守費	2			
計		12	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本点字図書館	視覚障害者用図書情報ネットワーク運営事業	41		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本盲人会連合	点字ニュース即時提供事業	40		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本障害者リハビリテーション協会	障害者情報ネットワーク運営事業、パソコンボランティア指導者養成事業	90		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社A	システム運用保守、サーバー入替等業務	11.6	随意契約	
2	株式会社B	システムサーバー ハウジング業務	6.8	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	有限会社A	サーバ運用、サイト開発	9.0	随意契約	
2	有限会社B	視覚障害者等用ツールソフトウェア開発	1.6	随意契約	
3	株式会社C	サイト開発	0.6	随意契約	